

第8回三春町公共施設整備方針検討委員会議事録

1. 日 時 平成24年8月27日（月）午後1時30分～午後2時30分
2. 場 所 役場3階会議室
3. 出席委員 大津茂委員長、佐久間保一副委員長、幕田勝壽委員、遠藤重一委員、大内勇委員、伊藤満委員、影山光雄委員、影山良吉委員、武田泰夫委員、内藤忠委員、松崎正夫委員、降矢由美子委員、橋本国春委員、遠藤真弘委員

欠席委員 なし

4. 会議の内容

(1) 開 会

事務局（財務課長）

(2) 委員長あいさつ

前回の委員会では、葛尾村からの要望を受け、「要田中学校の貸与」について、全員一致した。

本日は、廃校となる中学校4校の利活用について、地区住民全ての意見を取り入れることは不可能であることから、委員会として一定の意見の方向付けをしたいと考えている。

その際には、地区意向の把握について、各地区まちづくり協会長のご協力をお願いし、意見集約を図っていききたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。

(3) 議 事

① 地区意向の把握についての考え方について【資料 No. 1】

委員長：事務局の説明を求める。

事務局：資料 No. 1 に基づき説明。

委員長：ただ今の説明について、各委員より質問意見等があればお願ひしたい。

各委員：特になし。

② 利活用についての意見交換（フリートーキング）【資料 No. 2】

委員長：事務局の説明を求める。

事務局：資料 No. 2 に基づき説明。

委員長：ただ今の説明について、各学校ごとに意見交換したいと思うので、各委員のご意見等よろしくお願ひしたい。

1) 三春中学校について

委 員：三春中学校切通しの道路拡幅工事の進捗状況はどうか。

庁内委員：現在、用地交渉を進めており、今年度から少しずつ工事に入っていく予定である。

三春中学校については、グラウンドの一部を用地としてお世話になる予定である。

委 員：面積がどれぐらい必要かわかるか。（建設課長確認のため一時退席）

委 員：北体育館の一部を使って放課後児童クラブを運営しているようであるが、北体育館を御木沢小体育館に転用した場合、児童クラブの運営に支障をきたさないか。

委 員：北体育館の地域での社会体育等での利用状況はどの程度あるのか。

庁内委員：現在、北体育館は御木沢小学校の体育館として使用されている。放課後や休日には、一般町民に貸し出している。また、今年の4月からは北体育館に児童クラブを併設して使用している。各学校の体育館と同じ扱いで一般に開放している。

庁内委員：三春中学校のグラウンドについては、買収面積については482㎡を予定しており、残地面積については5,322㎡になる予定であり、中学校入口T字路地点から7～8m中に入ってくる予定である。

委員：基本的な考え方（案）として、「中学校が廃校になっても周辺地域を衰退させない」とあるが、例えば学校がないとどのような衰退が考えられるのか教えていただきたい。

事務局：事務局案として提案させていただいたので、基本的な考え方についても各委員の意見をいただきたい。全体としての方向性を出すためには、学校ごとに基本的なテーマや考え方を持っていかないと、方向性がなかなか出ないのではないかと思います、テーマを提案した。人の通りが少なくなり、さびしくなってしまうことも考えられるため、何かしらの対応が必要であろうと考えている。

委員：人通りが少なくなり、周辺地域の商売力が落ちると捉えるのか、それとも賑わいの意味で衰退すると考えるべきなのか。

事務局：人通りが少なくなり寂しくなることもあり、また、商店街が何らかの影響を受けることも考えられる。

委員：第1保育所は築30年経過しており施設も老朽化しているとの話であるが、もともと現在の歴史民俗資料館の場所につくられるという話やいろいろな動きがあった。児童館の場所についても、当初は駐車場と考えられていた。例えば、三春中学校に第1保育所が入れば、街中が賑やかになるとも考えられるし、児童館もまとまって三春中学校に入るのも一つの案と考えられる。今年の出生数はどれぐらいか。

事務局：120人～130人ぐらいである。

委員：私も、三春中学校跡地に保育所と中央児童館が入って欲しいと考える。現在の児童館は道路を挟んでいるので少々危険ではないかと見ている。指導員の先生が見ているから安全が確保されているが、横断歩道に立っていても車は止まらないなど運転マナーが悪くなったせいもあり、危険ではないかとも見ている。子育て支援センターは現在第2保育所でやっているが、街中に来れば子どもたちや人が集まる、また、放射能の影響で外で遊べない子どものための施設とすることで、三春の中央に若い声が聞こえてくることは良いことではないか。

委員：現在の中央児童館は位置的にはどうなのか。

庁内委員：現在の児童館の役割は、三春小学校の1年生～3年生までの児童を預かっているが、まほらっこ教室は夏休みでやっていないため、児童館で預かることもある。現在の児童館の役割としては、三春小とのやりとりが多いので、三春小が近ければなお良いとも考えられるが、中央児童館の位置付けをどのようにするかによって位置が変わってくると考えられる。

委員長：その他意見等の集約については、まちづくり協会にお世話になりながらまとめていきたいと考えている。

2) 沢石中学校について

委員：沢石中学校を沢石小学校で使うという話しは、まだ全体としてはまとまっていない話しである。近い将来にそうなった場合、小学校の跡地をどう使うかという話になってくる。小学校の建物もしっかりしているし、高齢者が集まる場所が良いのではないかという話しも出ている。

委員：学校施設全体を高齢者が利用するだけでは、スペースを余してしまうことも考えられるので、有効に活用すべきである。

委員：地区内で不足している施設はあるのか。

委員：農協跡地もあるため、施設は十分にある。地域としては、小学校の方が使いやすいと考えているが、利用する場合には現在の校長住宅側を入口として使用したい。

委員長：地域の方の利便性、広い場所として違った使い方を考えていかなければならないと考えられる。

3) 要田中学校について

事務局：町としては要田中学校を葛尾村に貸与したいと考えているが、まだ決定には至っていない。

委員長：要田中学校の議論については、今回は外すこととしたい。

4) 桜中学校について

委員長：桜中学校については、さまざまな利用価値が考えられるので、各委員のご意見をいただきたい。

委員：桜中学校ができる前に、工芸村構想委員会として40数回の会議で意見交換を実施し、最初の案は三春の里を中心としダム全体を工芸村にするという構想があった。町内から要望があったように、現在活動している「アートアンドクラフト」のようなグループに貸し出し、そのような芸術グループを育てていくことも考えられるのではないかと。農村部にしては地価が高いのではないかと。総合的に利活用を考えて、町の活性化になって欲しいと思う。

委員：地元で話し合いを持った時に、桜中学校は階段がなく平らな地形であるため、介護施設が適しているのではないかと意見が多かった。

委員：財源調達手段とあるが、北海道のある空いた学校を競売にかけたという事例を聞いたことがある。沢石のように公共施設が余るようであれば、民間活力を三春町で活用することについても議論してみてもどうか。

委員：第6次三春町長期計画の内容を教えてください。また、どれぐらいの財源調達手段として考えられるのか、例えばネットで競売することも考えられるのか。学校は地域のコミュニティなので、それを売られてしまうとどうとも考えられる。

事務局：財産を処分するのも一つの方法であるが、その前にまず避難所等としての地元の利用があるため、地域で一度整理してもらうことが重要であると考えている。長期計画については、具体的にこれと表現するのは難しいが、将来的な町の振興方策であり一部門に限らず、産業、福祉などの広い分野を含んだ長期計画となっている。長期計画と財源調達手段の具体的な関係については、なかなか難しいとも考えられる。

委員長：町民の意見集約をするのではなく、委員会としてある方向性を出すために、答申に

役立つ情報があれば、お寄せいただきたい。まちづくり協会での意見徴収もよろしく
お願いしたい。

委員：前知事時代に、猪苗代湖を中心として会津の観光振興策があったが、三春では、第
2の猪苗代湖のような構想で、三春ダムと滝桜を中心として観光振興策を図るために
桜中学校は拠点となり得るのではないか。それが町に波及してくるような、大きなも
のの見方が必要ではないか。

委員長：考え方の一つとして、三春の里とタイアップすることも考えられる。桜中学校はい
ろいろな施設利用の考え方ができると思う。

委員：介護事業者から介護施設としての要望があり、介護保険事業に位置付けるとのこと
であるが、具体的にどのようなことなのか。

事務局：県内で介護事業を展開している事業者より、三春町で介護事業を実施したいとの申
し出があった。内容としては、グループホーム（認知症の方の介護施設）、デイサー
ビス（日中預かってサービスを提供する施設）、介護付きの高齢者住宅（詳細はわか
らない）の事業を実施したいとのことである。介護サービスを提供する事業所が増え
れば、サービス利用者も増えるため、介護保険料が上がることになるため、その事業
計画は3年ごとに見直すことになっている。現行計画は平成24年度～26年度の計
画であるため、次の介護保険事業計画での議論になってくると考えられる。

委員：桜中学校について、介護・医療関連専門学校からの打診があるとのことであるが、
どのような内容であるのか。

事務局：そういう話があった程度の認識でお願いしたい。

（4） その他

委員：本委員会よりいただいた中間報告に基づき、役場庁舎については、建設するという
ことで現在町の内部で検討を進めている。

また、議会でも検討を進めており、具体的には9月議会で町と議会で協議を行ってい
く。10月下旬頃からのまちづくり懇談会において、町からの説明事項とする予定であ
る。

事務局：次回第9回委員会開催については、9月末までに各地区の意向把握をお願いしてい
るため、それらを取りまとめたうえで、早くても10月下旬の開催予定としたい。

委員長：各地区まちづくり協会長においては、各地区の意見聴取にご協力をよろしくお願
いしたい。

（5） 閉 会

事務局（財務課長） （14：30）